

Vol.184

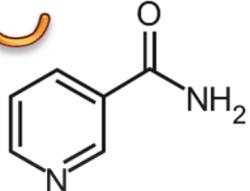
発行2018/8/1

マツモトこすめーる

Multi-benefit Active for Personal Care

医薬部外品対応

Niacinamide USP PC ナイアシンアミド



ナイアシンアミド（ニコチニン酸アミド）は、ビタミンB3と総称される2種類のビタミンのひとつで、もう一方のナイアシン（ニコチニン酸）と同等のビタミン活性を有しています。細胞にとって必須成分であるビタミンB3は、タンパク質・炭水化物・脂質の代謝に不可欠なビタミンです。

また、ナイアシンアミドは、細胞内代謝に必要なピリジン補酵素であるNADやNADPの合成の前駆物質であることから、エネルギー産生に重要な役割を担っています。

ナイアシンアミドには以下の効果が期待されます。

- アクアポリン3（AQP3）の発現促進 (*in vitro*)
- スキントーンの改善 (*in vitro*)
- 肌質、キメの改善
- 肌のトータルバランスを調整
- ニキビ肌の改善
- 抜け毛抑制および髪質の改善



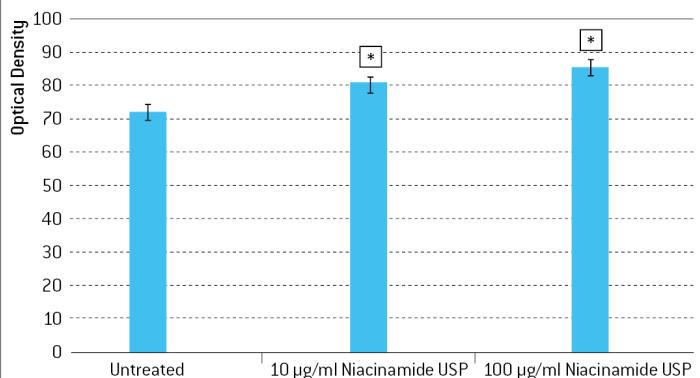
【効能・効果】

AQP3の発現効果 (in vitro)

アクアポリン(AQP)は、水や低分子溶質の細胞膜透過にかかる膜輸送タンパク質のひとつです。表皮ケラチノサイトはAQP3を発現することが知られており、AQP3のグリセロール輸送機能が肌の水分保持に重要な役割を担っています。

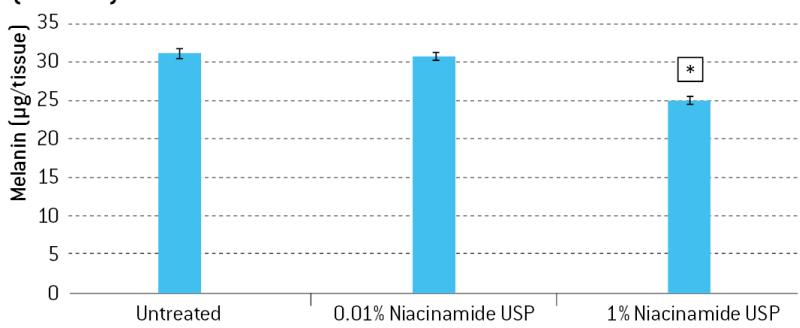
48時間処理後のケラチノサイトにおいて、 $10\text{ }\mu\text{g}/\text{mL}$ 及び $100\text{ }\mu\text{g}/\text{mL}$ のNiacinamide USPはAQP3の発現を統計学的に有意に増加させる効果を有することが確認されました。

Change in Aquaporin-3 Expression (in vitro)



メラニン合成抑制効果・スキントーンの改善(in vitro)

Assessment of Melanin Concentrations via Melanin Assay (in vitro)



Niacinamide USPがメラニン合成を抑制して、色調の整った肌をもたらす優れた効果があることが示されてきました。

SkinEthicの褐色表皮(Tanned Epidermis)モデルを用いた試験を実施し、0.01%と1%のNiacinamide USPで組織基板表面に9日間処理した結果、1%Niacinamide USPは未処理と比較して統計学的に有意なメラニン合成抑制効果を示しました。

【商品情報】

原料名: Niacinamide USP PC

表示名称: ナイアシンアミド

部外品表示名称: ニコチン酸アミド

製造元: ロンザジャパン



東京本社: 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-13-7 PMO日本橋室町5階

TEL 03-3241-5164 / FAX 03-3241-5169

大阪支社: 〒530-0001 大阪市中央区瓦町3-4-15 瓦町SFビル6階

TEL 06-7654-2250 / FAX 06-7655-2087

E-mail: yakusho@matsumoto-trd.co.jp

<http://www.matsumoto-trd.co.jp/>

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。